

第6回幸せになるための教育を実現する会議 議事録

日 時 令和4年9月22日（木）午後3時～午後4時30分

場 所 庁議室

委 員 神谷、鈴木、大崎、曽根、三浦

そ の 他 市長、企画部長、学校教育課主任指導主事、企画課長

議事録作成者 企画課 内田

1. 議題

幸せになるための教育の実現について（提言）

○委員長

この時期は新美南吉記念館周辺で 300 万本の彼岸花が咲いて、ごんの秋まつりが開催されています。この秋まつりで明日、明後日で彼岸花の結婚式があります。これは、彼岸花のイメージが悪いという相談を受け、私が始めました。そのイメージを変えるのは大変です。今年結婚式を挙げるのは 10 年ぐらい前に高校生でボランティアをしてくれた子で、自ら望んでの開催です。悪い先入観から良いイメージに替わったのを実感しました。

この会議の中で先生の多忙解消をしなければと考えていましたが、それよりも大切なことは先生をあこがれの職業にすることが大切だと思いました。そのためには先生が生き生きと仕事して、周りの生徒も幸せになっていく、この好循環を生み出すことが必要だと思いました。イメージを変えることは大変であると思いますが、取り組むべきと思います。

それでは、事前に配布しておりますが、提言についてご意見をお願いします。

○委員

2 段落目の「自分自身の判断基準で物事を見極め・・・」はとても良い文言だと思います。子どものころからこの基礎訓練が教育の中で必要であると思います。

○委員

会議での議論が反映されており、良いと思います。

○委員

会議の議論が上手に織り込まれており、読みやすい文章になりました。また、半田市が取り組むべき意欲を感じるまとめだと思います。

○委員

この提言の今後の取り扱いを説明してください。

○企画課長

本日、提言内容がこの会議で合意できれば、市長に手渡します。市長はこの提言をもとに、どのような教育方針とするか判断することとなります。具体的な現場での取り組みは、教育委員会での判断となると思いますが、この提言書は教育委員会にも渡され、活用されるものとなります。

○委員

この会議では重大な議論をしてきました。提言 2 の「教育委員会がその方向性を整え」の文言について、この会議での議論と教育委員会の方向性が異なることが心配です。とても重要な「各学校、各教員が主体的に自由に考え、進めていく」ことが、「教育委員会がその方向性を整え」を加えることによって、責任があいまいになります。各学校、各教員の取組が教育委員会の指示で実施できないことや、指示を待つてしまうことはこの会議の意図ではありません。提言 2 の「教育委員会がその方向性を整え」の文言の意味を教えてください。

○企画部長

当然、教育委員会も責任をもって取り組んでいくことを明確にしたものと認識しています。教育委員会の方向性が、この会議の方向性と異なるようであれば、再度、会議として発信していく必要があると思います。

また、各学校、各教員が主体的に自由な取組を阻害する意図はなく、当然、進めていくには教育委員会に関わる必要があることを表現したものと理解しています。

○企画課長

委員長と相談しながら最終案をまとめました。教育委員会が幸せを押し付けるのではなく、「各学校、各教員が主体的に自由に考え、進めていく」ことですが重要ですが、教育委員会はしっかり認識し、後押しする立場であるため記載しました。そのため表現も方向性を「決め」ではなく、「整え」としました。

○委員

そのような意図であれば理解しました。

また、気になる文言を伝えます。1 点目は、1 段落目「さまざま起きてくる」を「さまざまなことが起きてくる」の方が読みやすいです。2 点目、3 段落最後「取り組むものです」を「取り組

むことは大変価値のあるものです」とした方が、半田市から全国に広げていくべき取組で、誇るべきことの意味表示が伝わるのではないのでしょうか。3 点目、4 段落目 2 行目「帰着」は普段あまり使わないのではないのでしょうか。4 点目、最後の提言 3 に「行政は」などの主語を入れた方が伝わりやすいのではないのでしょうか。

○事務局

2 点目は、事前確認時の文書では「大変価値のあるものです」から変更した部分で、その表現のほうが良いということではなかったでしょうか。3 点目は事前確認時の文章では「姿に帰着する」ではなく、「成長による」でした。委員からの指摘で意味合いとしては成長するかどうかは関係がなく、帰着のほうが適切と考え修正しました。4 点目は、事前確認でも別の委員から「半田市」の主語を入れてはどうかとの指摘がありました。主語として「市長」が良いかどうかを検討しましたが、取り組むべき者が行政や市長だけではないのではないかと思います、主語を加えないことといたしました。

○委員長

まず 1 点目の修正の「さまざまなことが起きてくる」でよろしいですか。

○委員

「さまざまなことが起きてくること」となり、「こと」が 2 つになり読みにくいので「さまざまなことが起きてくると」とした方が良いと思います。

(その他、意見、反対なし)

○委員長

「さまざまなことが起きてくると」とします。2 点目、「取り組むことは大変価値のあるものです」の修正はいかがでしょうか。

○委員

私も「取り組むことは大変価値のあるものです」のほうが良いと思います。謙遜してしまい、表現が改まったと感じました。

(その他、意見、反対なし)

○委員長

「取り組むことは大変価値のあるものです」とします。3 点目「帰着」はいかがでしょう。

○委員

伝えたい意味は、数十年後の社会や個人の姿を決めるというものです。

○企画部長

「姿につながる」でいかがでしょう。

(その他、意見、反対なし)

○委員長

「つながる」とします。4 点目、提言 3 の主語についてはどうでしょう。

○企画部長

環境整備はいろいろな意味があります。ハード整備や人員は行政が担う部分ですが、取り組みやすい雰囲気などは行政以外の現場などが担うべきものとの考え方もできると思います。

○委員

この会議では、教員の多忙解消を行政が実施していくことに時間を割いて議論してきたと感じています。

○委員長

提言 2 の「教育委員会がその方向性を整え」を加える是非、提言 3 の主語を加えるかどうかについては、しっかり議論したいと思います。

まず、提言 2 について、整えるだと教育委員会の関与があいまいとなることを危惧していると思いますので、バックアップする意味合いとして「下支えし」などの表現はいかがでしょう。

○委員

教育委員会が全面的に取り組むわけではないので、「決定し」ではなく「整え」にしたと理解しています。「下支え」も土台になる意味合いが含まれるので「整え」のほうが良いと思います。

○委員長

この文章を現場の先生方が見たときにどのような感じる方をするのかも大切な視点だと思います。この提言の3点はとても大切です。「教育委員会がその方向性を整え」を加えることによって、各教員の主体性が削がれ、今と変わらないと感じることは避けたいと思います。

○委員

市長は直接、教育に関与することができないため教育委員会という組織があります。直接的な関与は教育委員会が担うため、この表現に間違いはありません。ただし、「整え」には様々な意味があるため、この会議の意図はしっかり議事録等で残すことによって対応することで理解したものです。

○委員

「整え」を提案したのは私です。「各学校、各教員が主体的に自由に考え、進めていく」とした場合、現場の教員は何をしてよいかわからず、また対応がバラバラになることによって、空中分解することを心配しました。いずれにせよ教育委員会が各学校、各教員に伝えるにあたって趣旨を作成すると思いますので、「教育委員会がその方向性を整え」を加える提案をしました。

○主任指導主事

教育委員会から教員に何かしらを伝えることは必要になると思います。好きな時に好きなように進めてくださいではなかなか進んでいかないと思います。例示や期間などの枠組みを作り、その方法については子どもたちと相談しながら先生の発想で進めてくださいというようなことを伝える必要があると思います。このことを「整え」ることと理解しています。

○委員

私の理想をお伝えします。何か指示がないと動けない先生もいることはわかります。動けない先生方を待つことも大切だと思います。周りが動き始めれば、最初は行動に移せなかった先生方もしっかり考え、行動に移せるようになると思います。こちらの方が自ら考え、行動していく姿であり、私どもが望む教育のあり方なのではないでしょうか。期間などの枠組みは校長が作っていけばよいと思います。今までの上意下達のようなやり方を変えていく必要があります。子どもたちの幸せを一人一人が考え取り組むことが、今までとは異なり重要な挑戦だと思います。

○委員長

理想は理解できます。幸せになるための教育の実現を目指すためにまず考えてほしいのは

各学校、各教員ですので、順番を入れ替えて、「各学校、各教員が主体的に自由に考え、教育委員会がその方向性を整え、進めていく」ではいかがでしょうか。教員が受ける心証は変わると思います。

○委員

文章を分けることはできないでしょうか。「各学校、各教員が主体的に自由に考え進めていくこと。また、教育委員会がその方向性を整え、・・・。」ではいかがでしょうか。今までのこの会議では教育委員会についての役割はほとんど議論されてきませんでしたので、違和感があります。

○委員

言葉の順序で印象は変わると思います。

○主任指導主事

時系列で考えるのであれば、各学校、各教員が取り組んだ後に教育委員会が整えることはありませので、意味がありません。削除した方がすっきりすると思います。

○委員

教育委員会が整えることが当たり前であるならば、削除する方法もあります。

○委員長

教育委員会の関わりを記載しないことによって現場の取り組みが空中分解する心配が、主任指導主事の話聞いて、その心配は必要ないと判断しますので、削除することよろしいですか。

○委員

1 点確認です。主任指導主事のお話で気になりました。各学校が授業や行事などを決定していく順序について、教えてください。

○主任指導主事

まず教育委員会が学習指導要領などをもとに半田市の教育目標、重点努力目標を決め、それに基づき学校が学校の教育目標、努力目標を決め、それを受けて各担任が学級の具体的な教育目標、努力目標を決め、実際の学級、授業を作っていくことになります。

○委員

今回の取り組みは各教員発となるボトムアップとなるため、今までの目標の設定方法とも異なる取組になるということですね。子どもたちが幸せについてしっかり考える習慣づけがゴールであるとすれば、実現するためにどちらが良いかを考える必要があります。

○委員

教育現場でどのような取り組みがされたとしても口を挟まないということではなかったですか。

○委員長

各教員に任せきりとするのは挑戦的な取り組みです。ただし、今回の文書で「教育委員会がその方向性を整え」を削除することによって、その教育委員会が行うべきことをやらなくて良いとのメッセージを発信するわけではありません。

○委員

すべて今までどおりというわけではなく、仕組みづくりは必要です。具体的には、発表会を頻繁に開催することによって、周りの教員の状況が確認できる仕組みを導入します。教育委員会が決められた実施方法を教員に取り組ませるのではなく、自分の位置を実感させる機会を設けることによって、自ずと改善していくと考えます。幸せを実現するための取組がしっかり行われるかどうかは、市長と教育長の覚悟だと思います。

○委員

心配しているのは、教員の多忙化の中にあって、受験等を意識した授業の実施を優先的に取り組む先生がいることも考えられます。それで良いと考えるか、教育委員会がその方向性を示したり、発表会を開催させたりするかは重要なポイントであると思います。

○委員

もう一つ具体的な仕組みとして、発表会を開催することによる見える化と併せて、全員担任制を導入することです。これらの導入によって、子どもたちからも先生の違いが見えることによって、その評価で先生方も工夫していくと考えます。理想的ではありますが、挑戦的な取り組みになると思います。

○委員

子どもたちの評価が先生方の行動を変えるためのフィードバックにつながるイメージができません。

○委員

そのあたりは校長先生がしっかり見極める必要があります。また、先生方も感じてもらえると思います。また、「教育委員会がその方向性を整え」を削除したとしても、この会議での議論を理解している主任指導主事はしっかり取り組んでもらえると思います。

○委員長

「教育委員会がその方向性を整え」を削除するかどうかが問題です。いずれにしても、この会議の提言である幸せについてしっかり考える人の育成という結果にはこだわりたいと思います。

○主任指導主事

幸せになるための教育を実現するためには、まずは取組を実行していかなければなりません。そのためには期間の設定などある程度の縛りによって、先生方が取組を始めるきっかけを作る必要があります。「教育委員会がその方向性を整え」を削除しても、しなくても、幸せ教育の実現のために教育委員会が土壌作りをしていくことに変わりないです。

○委員

ここまで言うのであれば、「教育委員会がその方向性を整え」を削除してはいいかがですか。

○委員長

それでは、「教育委員会がその方向性を整え、その取り組みは」は削除します。続いて、要旨３の主語についてですが、いかがですか。

○委員

環境整備という言葉を使う意図を確認させてください。

○委員長

私が、背景にある多忙解消というマイナスイメージで表現するのではなく、先生方が教育しやすい環境を整えることを意図し、使いました。

○企画部長

そのような意味であるとするのであれば、行政だけではなく、教育現場でも意識しなければ

ならない問題であると思いますので、主語を「行政」とするのは違うと感じます。

○委員

主語をつけるのであれば、「市長」で良いのではないかと思います。この会議を始めたきっかけも市長であり、また、市長という表現には行政、教育も含んでいると思います。また、市長とした方がインパクトもあり、過去の会議でも市長が行うこととして議論してきたので、伝えたいことが明確になると思います。

○委員

市長を入れることに賛成です。

○委員

この提言自体が市長に対するものですので、必要ないと思います。

○委員

入れてもよいと思いますが、提言書は市長が受け取るもので、なくても伝わるものであると思います。

○企画課長

「市長は」を加えることによって政治と教育を分離している日本の教育体系から考えると、教育現場に市長が介入していくイメージを与える心配があります。予算編成などで環境整備に努めることは市長もしっかり理解していますので、主語がなくても伝わると思います。

○委員長

それでは、原文通り、主語はつけないこととしてよろしいですか。

(反対なし)

○委員長

それでは主語はつけないこととします。また、提言書に委員長の氏名を入れていますが、続けて委員の全員の氏名を入れたいと思いますがいかがですか。

○委員

他で委員も公表していますので、なくてもよいと思います。

○委員

基本的には委員長のみでよいと思います。

○委員長

それでは、委員長のみとします。以上を修正点とします。

○事務局

確認します。

1. 1 段目「さまざま起きてくること」を「さまざまなことが起きてくると」に変更。
2. 3 段目の最後「取り組むものです」を「取り組むことは大変価値のあるものです」に変更。
3. 4 段目「帰着する」を「つながる」に変更。
4. 提言 2 の「教育委員会がその方向性を整え、その取り組みは」を削除する。
5. 会議の名称が「幸せになるための教育を実現する会議」となっていますが、正式には「半田市」が頭につきますので修正いたします。

以上を修正します。

（２）市長への提言

（委員長から市長へ提言書を手渡す）

○市長

ご提言をまとめていただきありがとうございます。私の考えを伝えただけで、議論できたことで思いが共有できたと思います。このような機会に本当に感謝しています。

さて、来週の総合教育会議で、この提言をもって教育委員と話をしていきます。実現していくことに力を注いでいくことになりますので、今後ご協力、意見交換をお願いします。

<終了>